

## 後立山縦走（唐松岳、五竜岳、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳）

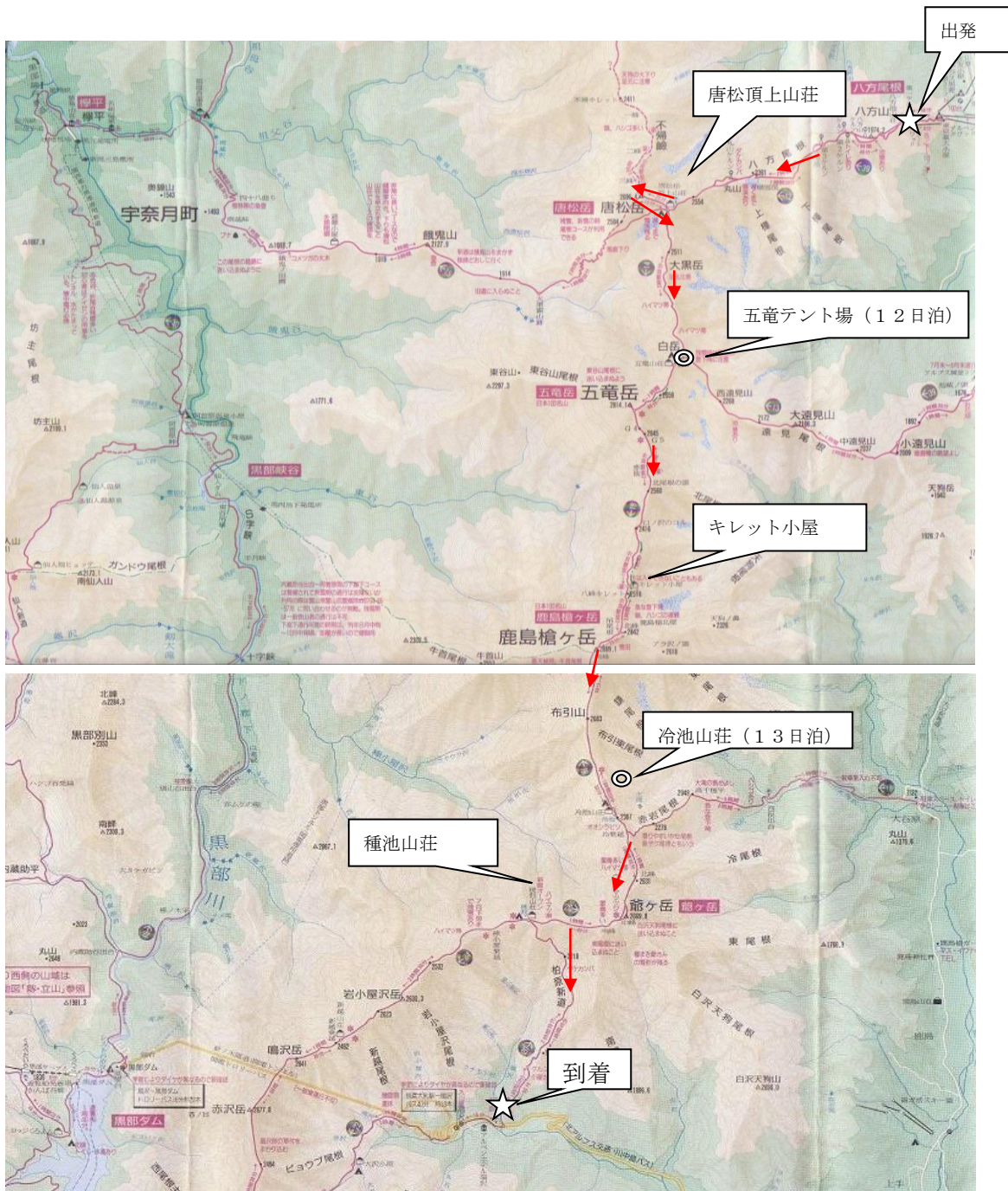
【日程】2014年8月11日～2014年8月14日

【エリア】北アルプス 後立山

【形態】縦走

【メンバー】S木、N嶋、O田、T島、T、N山、T良

【報告】T良



《ルート／タイム》

8月11日 天理出発 (19:30)

8月12日 白馬道の駅 (3:00) 車、テントで仮眠 八方ゴンドラ駅 (6:30) 八方ゴンドラ駅終点  
第一ケルン出発(7:30)～八方池(8:30)～唐松岳頂上山荘(11:20)～唐松岳頂上(11:40)～  
唐松岳頂上山荘(12:00) 昼食休憩 出発(12:30) ～ 小休憩(13:40) ～五竜山荘(15:30)  
テント幕営～夕食～就寝

8月13日 起床(4:00) 五竜山荘テント場出発(6:30) ～五竜岳頂上(8:00)～G4～G5～北尾根の頭  
(11:55)～キレット小屋(12:55)昼食休憩 出発(13:25)～八峰キレット～吊尾根(15:20)  
～鹿島槍ヶ岳北峰(15:30)～吊尾根(16:00)～鹿島槍ヶ岳南峰(先登隊 16:35 後登隊 16:50)  
～布引山(後登隊 17:30)～冷池山荘(後登隊 18:30) 山小屋素泊り～夕食～就寝

8月14日 起床(5:00) 冷池山荘出発(6:30)～爺ヶ岳南峰頂上(8:15)～種池山荘(9:10) 出発(9:30)  
～柏原新道～扇沢登山口(12:35)～扇沢バスターミナル到着(12:50)～昼食  
扇沢駅(14:10)バス～白馬駅(15:10)～白馬ハイランドホテル温泉(16:00)～ 北陸道 南条  
SAで夕食～天理(24:00)

《報告》

8月11日

天理 19:30 頃全員集合後、針テラス食堂で夕食。東名阪を通過していく予定が、亀山で渋滞につかまり  
ルート変更。新名神、名神を経て中央道で白馬へ。白馬道の駅についたのは12日 3:00 頃。道の駅前泊  
の車が多く、すでに駐車場は混んでいたがなんとかスペース見つけ、車、テントに分かれて朝まで仮眠。

8月12日

朝食後 6:00 頃白馬道の駅を出発。白馬駅前駐車場に駐車してタクシーで八方ゴンドラ駅へ。ゴンド  
ラからリフトに2回乗り換える。片道の通し券で1450円。15kg以上の荷物は手回り券220円必要。  
女性メンバーは軽量だったが、グルメ&オシャレ番長の中嶋さんはS木リーダーもびっくりの21kg。  
第1ケルンから登山開始。八方池まではハイキングコースになっており、高山植物も咲き乱れ、家族連  
れも多くとてもにぎやかでした。途中、靴擦れしている女の子の応急手当をする心優しいS木リーダ  
ー。第2ケルン、第3ケルンを通り、八方池到着。



八方池から唐松頂上山荘までは雲行きが怪しくなり、少し雨もぱらついていましたが、時折見える五竜岳や白馬連峰の眺望を楽しみながら唐松山荘へ到着。

少しずつ眺望も開けてきて剣岳連峰も見えました。山荘脇にザックを置いて身軽になり唐松岳登頂。眺望と写真を撮るを各々楽しむ。



山荘まで戻り、昼食とトイレ休憩。その後、今回のコースの特徴でもある岩稜帯が始まる。本格的な鎖場が続き、S木リーダーの指導のもと全員が無難にこなしていく。明日のキレットに向けていいスタートをきれたように感じました。1時間程歩き、小休憩。この時には天気は回復しており、レインコートも脱ぎ、その後は五竜山荘テント場まで休憩なしで1時間半歩く。この1時間半が前日の寝不足もあり、非常にきついものとなりました。到着後のビールをイメージして最後の力を振り絞り、最終コーナーを越えて山荘の赤い屋根が見えてきた時にはホッとしました。





テント場はすでにいっぱい、登山道脇に幕営する形となりました。少し風がきつい中での設営となり、風向きと入口についてのレクチャーを受けながら、無事に張り終えました。（その後少し移動が必要となりましたが）各々夕食を作ったり、ビールを飲んだりしてまったりしながら、綺麗な夕日を楽しみました。ブロッケン現象まで見ることができ、充実した1日目となりました。その日はどちらのテントも7時頃に就寝。前日の寝不足もあり皆よく眠れたようです。



## 8月13日

4時頃起床。五竜岳側には綺麗な月がまだ残っており、神秘的な五竜岳に酔いしれていると、素晴らしい日の出を迎えることができました。八ヶ岳、その隣には富士山（全員見れたはず）、さらに隣には南アルプスも見え朝からとても気持ちのいいスタートとなりました。

テントを片づけ、6:30 出発。五竜岳山頂までは、朝一番で皆元気に登頂。五竜岳頂上では快晴の中、360度の眺望を楽しみ、剣岳連峰、立山連峰、槍ヶ岳もお目見え。



眺望を十分に楽しんだ後、今回の核心部のひとつでもある G4,G5 の難所が始まる。皆、気を引き締めて、S リーダーのレクチャーに従い、ひとつずつこなしていく。キレットの険しい間にも高山植物が咲き乱れ、時折コマクサの群落にホッととなる。途中の休憩で S 木リーダーから力飯のおにぎりの配給があり、道を進むと、疲れた顔の男性登山者に会う。キレット小屋近くで滑落事故があり、すぐ近くで声を聞いたという。メンバー全員に緊張感が走るが、S 木リーダーの「決して気にしないように」という適切な指示を受け、昼食休憩のキレット小屋まで急ぐ。途中、T 良がシャリバテと軽い熱中症で休憩が必要となり、皆にペースを合わせてもらい、キレット小屋へ到着。このころ少し雲行きが怪しくなり霧がかかってきていました。

暑かったので皆昼食とともに炭酸飲料で喉をうるおしてリフレッシュ。少し時間が押していたので昼食後すぐ13時25分出発。キレット小屋出発してまもなく、事故現場近くで待機している県警の人に会う。濃霧で救助活動が難航しているとのこと。その日の目的地、冷池までは「今からでも十分間に合いますから、気をつけてくださいね。」という言葉に安堵感を感じました。八峰キレットでは鎖場、ハンゴの連続で S 木リーダーの指示のもと、カウンターザックに気をつけ、息も整えながらひとつずつ確実にこなしていきました。北峰ははるか上のほうに見えていましたが、吊尾根まで到着。吊尾根到着間際に N 嶋さんが足に少し違和感がありツムラ68番を飲んで休憩。ザックを置き、その他メンバーで北峰頂上までピストン。頂上からは先ほどの事故の救助ヘリが飛んでいる姿が見えました。晴れたと思ったら、またすぐに霧がかかってきて、難航している様子でした。



吊尾根からは時間も押してきていたので、先発隊（Sリーダー、Tさん、N山さん）と後発隊（O田さん、N嶋さん、T島さん、T良）の2班に分かれ、先発隊はテント場を確保するために先を急いでもらい、後発隊は体調を見ながら安全に残りの道を進みました。鹿島槍ヶ岳南峰登頂後は、なだらかな下り道。おしゃべりを楽しみながら進みました。布引山で休憩後は冷池テント場まで。途中、虫が多く中嶋さんが防虫ネットを活用。テント場到着まであと少しのところ、S木リーダーが迎えにきてくれていて、テント場がいっぱいで今夜は山荘素泊まりになるとのこと。18:30に全員無事冷池山荘到着。

冷池山荘はリニューアルしていてとても綺麗な山荘でした。荷物を部屋に置き、売店が閉まる19:00までに各々ビールやコークを買い込み、自炊場で、楽しく夕食の準備。夕食を分け合いながら楽しい晩餐となりました。

約12時間のロングコースの後に布団で眠れるという幸せ。でしたが、意外とイビキが気になったり、周りが気になったりで熟睡できなかった人も多かったようでした。

## 8月14日

5時起床、朝食。6:30冷池山荘出発。山荘脇でオコジョに出会う。この日は比較的なだらかなコースで後半は下山となるので気分的には楽でしたが、疲れもあるので怪我をしないように慎重に進みました。ハイマツ帯を進み、猿の集団に会う。高山植物に詳しいSリーダーの説明を聞きながら進み爺ヶ岳南峰に8:15到着。種池山荘のオレンジの屋根と緑のコントラストがとても綺麗な景色を見ながら進むと雷鳥に出会いました。山荘まではチングルマを始めとする高山植物のお花畑の中を気持ちよく下りました。種池山荘で休憩後は一気に扇沢登山口までの下り道。途中小さな雪渓を通過。12:50扇沢バスターミナルへ全員無事下山しました。



14:10 発のバスまで、食堂で黒部ダムカレーの昼食。扇沢から乗り換えなしで白馬直通のバスだったので（片道1600円）とても便利だった上に7人貸切でゆっくりと昼寝をしながら白馬へ。途中、大町観光協会の丸山さんからアンケートがあり、意見交換をしながら白馬のおすすめ温泉を教えてもらい、次回剣岳山行の際の割引情報なども得ました。

丸山さんおすすめの白馬ハイランドホテル温泉で汗を流した後は、北陸道経由で、南条SAで越前そばの夕食をとり、天理着が24:00頃でした。

今回、お天気予報は悪く雨の中での縦走を覚悟して決行しましたが、皆の日頃の行いと神通力で初日にパラパラと雨に降られた以外は晴天に恵まれ、綺麗な夕日、朝日と北アルプスの眺望を楽しめた最高の山行となりました。終始、メンバー全員を引っ張って下さったS木リーダー、ありがとうございました。